

令和5年度 第4回大津市教科用図書選定審議会【会議概要】

日時：令和5年7月20日（木）14:00～17:30

会場：大津市役所新館2階 災害対策本部室

1 出席者

(1) 選定審議会委員（5名）

榎本恵理委員、山田淳子委員、中岡業成委員、中野啓一委員、中野正樹委員

(2) 事務局（4名）

上杉康晴学校教育課長、浅野和成学校教育課長補佐、平井重美学校教育課副参事、奥田研二学校教育課主査

2 会議の要旨

(1) 開会

[事務局]

本日は6名中5名の出席があり、大津市教科用図書選定審議会規則第5条第2項の規定により、定足数を満たしているため、議事を進めることとする。また、審議会は、協議する議事の内容を考慮し、採択後まで非公開とする。

(2) 挨拶

[会長]

(3) 本日の議題について

[会長]

本日の審議会の議題について、事務局より提案を求める。

[事務局]

本日の議題は、推薦図書の決定方法について、答申の方法について、推薦図書の決定、答申案について。

(4) 推薦図書の決定方法について

[会長]

推薦図書の決定は、発行者ごとの合計点数と得点率を基に審議し、その理由を添えて種目ごとの推薦図書の候補とすることとなっている。推薦図書の決定にあたり事前に確認しておくべき事項について、事務局からの説明を求める。

[事務局]

資料に沿って、想定される得点パターンについて説明。

[会長]

それぞれのパターンについて、どのように推薦図書を決定するか。

[委員]

合計点数、得点率がともに高い発行者がある場合は同者。合計点数が同じ発行者がある場合は、得点率を加味して決定する。合計点数と得点率の評価が異なる場合は、「合計点数」の意

味を考えて決定する。審議会委員は観点ごとに点数をつけている。観点ごとに評価していることに重きを置き、合計点数が高い方に決定してはどうか。

[会長]

合計点数を重視し、教科ごとに推薦図書を決定する。合計点数も得点率の高い委員の数も同じ場合は、協議のうえで決定することとしてよいか。

[委員]

異議なし。

(5) 答申の方法について

[会長]

答申の方法について、意見を求める。

事務局より提案を求める。

[事務局]

資料に沿って説明。1 ページが答申案。「別紙1」は小学校各教科の推薦図書。本日の審議会で決定した発行者名と教科書名を記載する。「別紙2」は中学校各教科の推薦図書の発行者名と教科書名。令和2年度の採択から4年間同一の教科書を使用するため、今年度と同じものを記載している。「別紙3」及び「別紙4」は小中学校特別支援学級で使用する一般図書。今年度新規採択候補の図書は赤色で記載している。協議の結果推薦図書とならなかったものがあれば、一覧表から削除する。以上を、8月1日に開催される教育委員会定例会に答申する。

<質疑応答>

なし

(6) 推薦図書の決定

[会長]

推薦図書の決定理由について、前回までの採択の際はどのようにしていたか。

[事務局]

昨年度までは、評価の集計表をもって推薦理由に代えると審議会で申し合わせがあった。

[会長]

特に異存がなければ、今年度も同様でどうか。

[委員]

異議なし。

[会長]

推薦図書についての評価にあたり、閲覧研究の時間を80分程度設ける。

評価方法について、事務局より確認のため説明を求める。

[事務局]

「小学校教科用図書評価用紙」、「小中学校特別支援学級教科用図書評価用紙」に沿って、採点方法について説明。小学校教科用図書は、観点ごとに4段階で評価を行う。特別支援学級で使用する一般図書は、特別支援学級での使用に相応しいか否かを○×で評価する。

<質疑応答>

なし

<教科用図書の閲覧、研究>

(約80分)

[会長]

小学校各教科の教科用図書及び小中学校特別支援学級で使用する一般図書の評価を行う。

手元にある評価用紙を記入し、記入ができたものから事務局に提出をお願いする。事務局は、提出があったものから随時入力し、集計を行うこと。

<評価用紙の記入>

(約30分)

<集計結果の確認>

[会長]

小学校各教科の教科用図書及び小中学校特別支援学級で使用する一般図書について集計結果の確認を行う。

事務局より、集計結果の報告を求める。

[事務局]

小学校各教科の教科用図書及び小中学校特別支援学級で使用する一般図書の評価一覧を配付する。

<議決>

[会長]

報告された集計結果をもとに議決を行う。種目によっては、適宜審議も行う。

まず、小学校各教科で使用する推薦図書についての採決を行う。

国語の推薦図書について、集計結果では光村図書が他者と比べて評価が高かったが、意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

どの単元も問いが示されており、学習者としても指導者としても、見通しを持った授業が展開できる。

[委員]

市の審議票に「学習の見通しを立てて取り組む」とあるが、教科書に沿って授業をすれば、子どもたちの力がつくような教科書であると感じた。

[会長]

集計結果等をふまえ、国語の推薦図書を光村図書とする。賛成の方の挙手を求める。

賛成が過半数となったので、光村図書の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

書写の推薦図書について、集計結果では東京書籍が他者と比べて評価が高かったが、意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

東京書籍の教科書は、筆の使い方が非常にわかりやすい。写真とコメントだけでなく、筆圧の強弱が色分けされているので、子どもにとって視覚的にわかりやすい。

[委員]

左手の鉛筆の持ち方も、わかりやすく書かれていたのがよかった。

[会長]

集計結果等をふまえ、書写の推薦図書を東京書籍とする。賛成の方の挙手を求める。
賛成が過半数となったので、東京書籍の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

社会の推薦図書について、集計結果では日本文教出版が他者と比べて評価が高かったが、意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

他の発行者と比べて課題が見つかりやすい。課題解決型の学習をしようとした時に、見開きのページで学習課題が示されているため、学習に取り組みやすくなる。

[委員]

子ども同士の話し合い活動がしやすい工夫がされている。

[会長]

集計結果等をふまえ、社会の推薦図書を日本文教出版とする。賛成の方の挙手を求める。
賛成が過半数となったので、日本文教出版の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

地図の推薦図書について、集計結果では帝国書院が他者と比べて評価が高かったが、意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

地図の色で地形がわかりやすかった。

[委員]

SDGsの特集ページが設けられていた点が評価できる。

[会長]

集計結果等をふまえ、地図の推薦図書を帝国書院とする。賛成の方の挙手を求める。
賛成が過半数となったので、帝国書院の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

算数の推薦図書について、集計結果では教育出版が他者と比べて評価が高かったが、意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

対話ができるような仕掛けがあり、主体的、対話的で深い学びに使いやすいと考えた。

[委員]

単元の初めにどのような学習をするのか示されており、導入として活用しやすい。

[会長]

集計結果等をふまえ、算数の推薦図書を教育出版とする。賛成の方の挙手を求める。
賛成が過半数となったので、教育出版の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

理科の推薦図書について、集計結果では東京書籍が他者と比べて評価が高かったが、意見の

ある方はいらっしゃるか。

[委員]

教科書をパッと見たときに、写真やレイアウトがとても見やすく感じた。理科は見て学ぶ教科であり、よいと感じた。

[委員]

情報量が多いが、それがうまくレイアウトされている。他者と比べて、理科の課題解決型の学習の流れがわかりやすい。理科の特性に合致している。

[会長]

集計結果等をふまえ、理科の推薦図書を東京書籍とする。賛成の方の挙手を求める。

賛成が過半数となったので、東京書籍の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

生活の推薦図書について、集計結果では東京書籍が他者と比べて評価が高かったが、意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

理科と同様。特に低学年では、写真やイラストなど目に訴えることが大事。自分が実際に観察したことと比較する際に見やすいよう設計されている。

[委員]

吹き出しがたくさん使われている。自分の意見と比較したり、対話するのに適している。

[会長]

集計結果等をふまえ、生活の推薦図書は東京書籍とする。賛成の方の挙手を求める。

賛成が過半数となったので、東京書籍の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

音楽の推薦図書について、集計結果では教育出版が他者と比べて評価が高かったが、意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

ページの上部に、つけたい力が明確に示されており、学習に対する課題がはっきりする。また、紙面構成もよい。レイアウトも見やすく、二次元コードの横に説明があり活用しやすい。

[委員]

挿入されている絵や写真が曲に合致しており、曲のイメージを広げやすい。

[会長]

集計結果等をふまえ、音楽の推薦図書は教育出版とする。賛成の方の挙手を求める。

賛成が過半数となったので、教育出版の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

図画工作の推薦図書について、集計結果では開隆堂が他者と比べて評価が高かったが、意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

開隆堂の教科書は、教科書の写真や作品を見ると、創作意欲が掻き立てられる。

[委員]

写真や絵が大きく、インパクトがある。子ども達の興味を引き付けることができる。また、

番号が振ってあるため指導しやすく、子どもにもわかりやすい工夫がある。

[会長]

集計結果等をふまえ、図画工作の推薦図書を開隆堂とする。賛成の方の挙手を求める。
賛成が過半数となったので、開隆堂の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

家庭の推薦図書について、集計結果では開隆堂が他者と比べて評価が高かったが、意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

学習のめあてが持ちやすいまとめ方がされている。また、調理実習の進め方もわかりやすい。

[委員]

ボタンの付け方や糸の絡め方について、写真ではなくイラストで書かれているため見やすい。
子どもも、絵を見ながらの方がしやすいのではないか。

[会長]

集計結果等をふまえ、家庭の推薦図書は開隆堂とする。賛成の方の挙手を求める。
賛成が過半数となったので、開隆堂の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

保健の推薦図書について、集計結果では東京書籍が他者と比べて評価が高かったが、意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

レイアウトがわかりやすい。一目見て、何が書いてあるかがよくわかる教科書だった。

[委員]

文字のフォントも見やすい。

[委員]

運動との関わりなどが記載されており、学習意欲を引き出すことができる。また、見やすいフォントと優しい色づかいも評価できる。

[会長]

集計結果等をふまえ、保健の推薦図書は東京書籍とする。賛成の方の挙手を求める。
賛成が過半数となったので、東京書籍の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

英語の推薦図書について、集計結果では東京書籍が他者と比べて評価が高かったが、意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

書くところが多く、学びにつながる。また、デジタル教材が非常に充実しているところも、高く評価できる。

[委員]

英語科の学習において、中学校とのつながりを意識した構成となっている。楽しい英語から教科学習としての英語への移り変わりが上手く工夫されている。

[会長]

集計結果等をふまえ、英語の推薦図書を東京書籍とする。賛成の方の挙手を求める。

賛成が過半数となったので、東京書籍の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

道徳の推薦図書について、集計結果では日本文教出版が他者と比べて評価が高かったが、意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

道徳ノートが使いやすい。見開きになっており、問いが書かれていて、色々な考えを引き出す仕組みがあった。

[委員]

中学年の教科書もイラストが多く、イメージしやすい。写真もイラストも多く活用されていたことが評価につながった。

[委員]

日本文教出版の教科書には、フローティングスクールを題材にした作品が掲載されている。自分たちが経験することが教科書に取り上げられており、他者の教科書より評価できる。

[会長]

集計結果等をふまえ、道徳の推薦図書を日本文教出版とする。賛成の方の挙手を求める。賛成が過半数となったので、日本文教出版の教科用図書を推薦図書として決定する。

[会長]

続いて、特別支援学級で使用する推薦図書についての採決を行う。集計結果では、全ての図書を推薦することとなった。意見のある方はいらっしゃるか。

[委員]

先生と子どもが話し合う中で使う場面を想像すると、どれもいい教材であると感じた。

[委員]

教師が指導するうえでも活用しやすく、子どもが自宅に持ち帰って学ぶことにも活用できる。また、全ての図書を推薦図書とすることで、子どもの特性に応じた学習ができる。

[会長]

集計結果等をふまえ、全ての図書を推薦図書とする。賛成の方の挙手を求める。賛成が過半数となったので、全ての図書を推薦図書として決定する。

(7) 答申案について

[会長]

答申内容の確認を行う。

事務局より、推薦図書を記載した答申案の配付を求める。

[事務局]

推薦図書を記載した答申案を配付する。

[会長]

小学校各教科の推薦図書について、種目ごとに発行者名と教科書名を読み上げる。小中学校特別支援学級で使用する一般図書については、全て過半数の賛成があったため表のとおりとする。以上を本審議会の答申としてよいか。

[委員]

異議なし。

[会長]

今回決定した推薦図書について、教育委員会へ答申する。

(8) 閉会

(9) 事務連絡

[事務局]

本日の答申に基づき、8月1日に開催される教育委員会で採択される。なお、採択結果や協会の会議概要、採択に係る資料については、採択後、準備が整い次第公開する。